

UV側溝 施工要領

基礎工

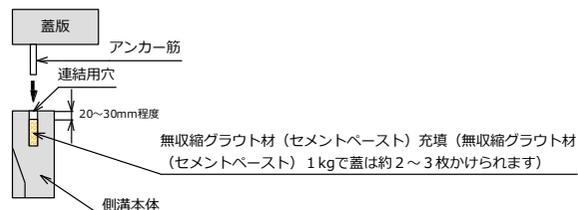
- [1] 基礎地盤は転圧機で十分に締固めを行います。
- [2] 基礎は所定の寸法通りに仕上げます。

側溝本体の施工

- [1] 側溝本体の据え付けにあたっては、専用の吊金具を使用し、側溝側壁や底版部材に過度の応力が発生しないように注意してください。
- [2] 側溝本体は、専用の連結金具を使用し、連結を行ってください。
- [3] 側溝小口面には、止水性を高めるためにシール材を使用します。

調整コンクリート

- [1] 調整コンクリートの設計基準強度は $18\text{N}/\text{mm}^2$ 以上とします。
- [2] 調整コンクリートの最小厚さは 50mm としてください。



グレーチング蓋の取付

- [1] 側溝本体とグレーチング蓋の固定は、専用の無収縮グラウト材（セメントペースト）を用いて確実に施工してください。
- [2] スロープタイプのグレーチング蓋の場合は、テーパワッシャーを使用して固定して下さい。

※無収縮グラウト材（セメントペースト）を側溝本体の連結穴4ヶ所に8割程度まで充填し、アンカー筋の付いた蓋を設置して下さい。無収縮グラウト材の粉体量1kgに対して0.17kg（170cc）程度の水を加え、よく攪拌してください。

埋戻し

- [1] グレーチング蓋が側溝本体と確実に固定された後に、埋戻しを行ってください。
- [2] 埋戻し土には、せん断抵抗角が 30 度以上の砂質土もしくは礫質土を用いてください。

〈注意〉側溝本体とグレーチング蓋が固定されたボックス型ラーメン構造として、土圧や自動車荷重に耐えるように設計されています。したがって、グレーチング蓋を取付ける前に埋戻しを行うと側溝にひび割れが発生する恐れがあります。

UV側溝の据付け



無収縮グラウト充填



グレーチング受枠設置



グレーチング受枠設置



設置完了

